



12月定例会のトピックス

特別委員会を設置しての調査は不要

12月の議会では、本会議での「演習場対策事業」「敦賀市民間最終処分場への一般廃棄物処理の委託問題」「農業委員会のあり方」についての議論を受け、一部の議員から真相の解明を行うため特別委員会を設置し、調査を行いたいとの議案が提出されました。審議の結果、議案は賛成者少数で否決となり、特別委員会設置による調査は不要と結論づけました。

「津山市議会日本原演習場対策事業・ごみ処理行政・農業委員会などのあり方調査特別委員会の設置について」

議案の提案者 河本英敏議員
津本憲一議員
久永良一議員
山田 誠議員



提案理由の概要

①日本原演習場対策事業は、周辺住民の理解のもとで行われているが、事業化に伴う工事発注や業者選定などについて、議会として一定のあり方を検討する必要がある。②津山圏域東部衛生施設組合が民間廃棄物処分場の汚水漏れ対策費用として、福井県敦賀市から1億9,200万円の支払いを求める訴訟を起こされた問題について、当時どのような経過があったのか、また市町村合併当時、旧勝北町からこの事案について事務引き継ぎがなされていないなどの課題など、議会として調査を行う必要がある。③旧勝北町の優良農地における農地転用許可に関する権限の一部について、県と市の見解に相違が発生している課題があり、議会として調査する必要がある。これらの3点は、いずれも1つの常任委員会では論議できない課題であり、特別委員会を設置し総括的に調査することが妥当と考えた。



討論

特別委員会の設置について、2人の議員が賛成・反対討論を行いました。

一方の見解だけの特別委員会設置は反対

新風会 松本義隆

指摘されている各種の事案について、そういった事実を裏づける証拠はなく、今回の議案提出は関係者の名誉を著しく傷つける行為だ。一部の議員を中心とする偏った見解によって特別委員会を設置し、調査など行うべきではない。よって委員会設置に反対する。

浮かび上がった課題を調査するのが議会の役割

日本共産党津山市議団 末永弘之

市民目線から考えれば、浮かび上がったこれらの課題を議会としてきちんと調査し整理すべきだ。提案理由を聞いてこの議案に反対することは、議会の役割を否定することにつながりかねない。よって委員会設置に賛成する。